allcinema

俺は善人だ（1935）

THE WHOLE TOWN'S TALKING

メディア 映画
ジャンル サスペンス
製作国 アメリカ
時間 95分
初公開日 1935/08
公開情報 劇場公開

【解説】

無遅刻無欠勤だけが取り柄の風采のあがらないサラリーマンが、脱獄したギャングの大立者とそっくりだったことから起きる悲喜劇を、巨匠フォードが軽妙洒脱かつ畳み掛けるようなテンポで描いた傑作。しかし、映画の成功の大部分は、全く対称的な人物の一人二役を舌を巻くうまさでこなしてみせたロビンソンに拠る。

社長の気まぐれで表彰を受けようかという日にたまたま大遅刻をしてしまい、それがおじゃんになるどころかクビにさえなりかけた主人公は、一人下宿で小説を書くのを楽しみにしている小心者。快活な美人の同僚とやっと昼食デートにこぎつけたと思ったら、その場で逮捕されてしまう。もちろん誤認だったが、自分が脱走中のマフィアのボスと瓜二つと知った彼は、これからも同じ目に遭いかねないと、ボスとは違う人物だという証明書を警察に発行させる。が、これを知ったボスは書類を手に入れようと彼の前に現れ、彼になりすまし、その夜の時間も奪って、堂々と凶悪な犯罪や復讐を重ねていく。その事実に気づいた女同僚は機転を働かし、今や恋人の主人公を助けようとする……。この行動的なヒロインに扮するアーサーも、まさに打ってつけの役でロビンソンに勝るとも劣らない。市井の人々を捉えた３０年代映画の典型とも言える、スクリューボール・サスペンスだ。

【クレジット】

監督	ジョン・フォード	John Ford
原作	W・R・バーネット	W.R. Burnett
脚本	ジョー・スワーリング	Jo Swerling
	ロバート・リスキン	Robert Riskin
撮影	ジョセフ・オーガスト	Joseph August
出演	エドワード・G・ロビンソン	Edward G. Robinson
	ジーン・アーサー	Jean Arthur
	ウォーレス・フォード	Wallace Ford
	アーサー・ホール	Arthur Hohl
	エドワード・ブロフィ	Edward Brophy
	アーサー・バイロン	Arthur Byron
	ドナルド・ミーク	Donald Meek
	フランシス・フォード	Francis Ford

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.